

## 係活動の手引き

### その7 係活動とリーダー育成

係活動というのは、まぎれもなく集団活動です。集団活動でリーダーシップを育てるにはどうしたらいいのでしょうか。そこで、係活動を通したリーダーシップ育成についてまとめてみたいと思います。

#### ◆係活動におけるリーダーシップ体験の意義◆◆◆

- (1) 係活動では、目的意識がより共有されやすいために、リーダーシップが発揮されやすい。
- (2) 係活動においては、よきリーダーシップ、よきフォロアースhipを経験させやすい。
- (3) 係活動の中では、責任を果たす大切さを学ぶことができる。
- (4) 係活動の中では、友だち理解がより進められる。

#### ◆リーダー指導の見直し◆◆◆

##### (1) 学級のみんがリーダーの役割を理解しているか。

誰にもリーダーシップがとれるようになってほしいものです。そこで、リーダーにはどういう役割が期待されるのか、リーダーを支えるフォロアーにはどういう役割があるのかを、学級の全員に指導したいものです。

##### (2) 発達段階を無視して、リーダーに無理な役割を押しつけていないか。

係活動が軌道に乗ってくると、私たち教師は、すぐに目標を高く掲げがちです。「きつとこのくらいはできるに違いない」そう考えると、無理な役割を押しつけてしまいがちになります。

##### (3) 活動のすべてにわたって、技術的な指導をしすぎていないか。

活動の効率化を考え、どうしても技術的な指導が中心になることがあります。技術指導も必要ですが、やはり「どう考えるか」「どうしたらいいか」ということを考えさせるようにしたいものです。

##### (4) リーダーだけを呼んで、活動の指導をしていないか。

活動はリーダーだけでなく、フォロアーの役割があって始めてスムーズに動き出すものです。そこで、活動の指導については、全員が理解できるようにしたいものです。

##### (5) リーダー（シップ）が認められる場面を多く設定しているか。

活動を長続きさせるためには、やはり誉める・認めることを忘れないようにしたいものです。リーダーとしての役割を果たした子どもを、全体の場でしっかり認めることを行いましょう。また、このことはフォロアーに対しても同じことが言えます。

#### ◆リーダーの役割とは◆◆◆

##### (1) 中学年

- \* 仕事の手順や役割をみんなで話し合っ決めてすることができる。
- \* 問題点を見つけ、自分たちで解決しようと進めることができる。

\*反省を次の活動に生かせる。

(2) 高学年

\*計画に無理がないか、十分に話し合いができる。

\*メンバーの持ち味などを生かした活動を考えることができる。

\*みんなが責任を果たせるように援助ができる。

### ◆リーダー指導の内容◆◆◆

☆ **【活動初期】** 係活動がスタートする時期

活動初期には、活動が軌道に乗るようにしていく必要があります。そこで、次の3つのことを指導したいと思います。

- ◇係活動と当番活動の違い
- ◇メンバー召集や話し合いの仕方
- ◇活動状況発表の仕方（朝・帰りの会）

☆ **【活動中期】** 活動が停滞しがちな時期

活動が軌道に乗り、しばらくすると起るのが、この停滞期です。そういう時、子どもたちの意欲は下がり気味です。そこで、次の3つのことについて指導したいと思います。

- ◇認め合う場をすること
- ◇学級のために活動を行っているという自覚
- ◇計画の見直し

☆ **【活動後期】** 活動が充実する時期

停滞期を乗り越え、活動が進んでくると、マナー化の状態が見えてきます。そういう時には、次の2つのことを指導します。

- ◇係相互のつながりを持たせる。
- ◇活動の成果を確かめあわせる。